

「広島県『みんなで減災』県民総ぐるみ運動」基本方針について

1 趣 旨

県では、災害時の被害をできる限り軽減する「減災」の実現に向け、「災害死をゼロにする」という新たな目標を掲げ、県民をはじめ、事業者、防災関係団体、行政等の多様な主体が協働・連携した「広島県『みんなで減災』県民総ぐるみ運動」を強力に展開する。

このため、今年度中に、「自助」、「共助」の取組を中心として、県民がとるべき行動を促す新たな条例を制定する。

2 目指すべき姿

“災害死ゼロ” 災害に強い広島県の実現（仮題）

3 行動目標

命を守るために、県民が自ら、災害の危険性を「**知り**」、
災害発生をいち早く「**察知**」し、適切に「**行動**」できるとともに、
普段から、災害を「**学び**」、災害に「**備える**」。

4 検討事項

(1) 「命を守る」行動に結びつけるために、最低限必要な取組を最優先で展開

行動	検討項目	取組事例（◎は重点的に取り組む項目）
知る	危険箇所等の共有	◎ハザードマップ・避難場所の周知徹底 ○危険箇所への看板設置
	普及啓発の強力な推進	○地域の災害危険性を知る県民を増やすための普及啓発
察知する	情報入手方法の周知	◎携帯電話の購入・更新時における防災メール登録の徹底 ◎「土砂災害ポータルサイト」や「広島県防災Web」の利用方法の周知・工夫 ○メディアからの気象情報や防災情報等の活用の徹底
	情報提供手段の拡充	○避難勧告の周知拡散（周辺への声掛け） ○Web環境のない住民に対する情報提供手段の拡充
	自主避難の判断基準となる情報源の拡充	○危険箇所への雨量計等の設置
行動する	避難方法の確立と 避難場所の周知	◎早期の避難行動・適切な避難場所を選択するための仕組みの構築 ◎災害種別・状況に応じた避難方法の確立と緊急避難場所等の周知

(2) 「普段から備える」行動に結びつけるための取組を展開

行動	検討項目	取組事例（◎は重点的に取り組む項目）
学 ぶ	防災教育の推進	○学校や防災教室等における防災教育の強化・推進
	自主防災活動の促進	◎自主防災組織の中核を担う防災リーダーの養成 ○取組事例の共有による組織化の促進と運営ノウハウの全県波及
備える	防災グッズの常備	◎県民による防災グッズの常備を徹底
	地域住民による安全確保	○地域全体で安全に避難できる仕組みの構築
	災害に強い建築物の推進	○建物の耐震化や防護壁の設置など、住まいの安全を総合的に確保

5 スケジュール

H26.9月	10	11	12	H27.1	2	3	4～
						<p>● 条例制定</p>	